

平成 25 年 7 月 30 日 00129 号

編集者:佐藤 寿春

北見武道通信

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【花のたより】芍薬が咲きました！

シャクヤクの花言葉は「はじらい」「はにかみ」「清浄」で6月16日の誕生花。学名が(Paeonia lactiflora)で、属名の「Paeonia(パエオニア)」は、ギリシャ神話の「医薬の神」である(Paeon(ペオン))の名前に由来しています。ボタン科の耐寒性宿根(多年)草で中国とシベリア南部周辺が原産とされ、芍薬は枝分かかれせずに真っ直ぐに立つのに対して、牡丹は枝分かかれやすく横長の樹形になることで「樹が牡丹草が芍薬」と言われ分けられています。牡丹と芍薬を区別しているのは日本と中国だけで、その他の国や学術的には属名パエオニアの名で同種として扱われます(牡丹:学名:Paeonia suffruticosa)。昔から美人の形容詞として『立てば芍薬座は牡丹。歩姿は百合の花』『牡丹が「花王」、芍薬は花の宰相「花相」』などと美しさの象徴として語り継がれ親しまれています。江戸時代には多くの美しい品種が作られましたか咲き方も一重咲きの他に翁(おきな)咲き冠咲き・手毬咲き等、基本だけでも8種の咲き方があります。この中でも、武士の素養として園芸を重要視していた肥後(熊本)藩によって作られた品種を「肥後芍薬」と呼ばれ親まれています。また、シャクヤク(芍薬)にまつわるギリシャ神話があります。【医薬の神 ペオンはオリンポスの山から取ってきた芍薬の根によって、黄泉の国王「プルート」の傷を治したが、医術の神「アスクレピオス」が、これを妬んで「ペオン」を殺してしまう。黄泉の国王「プルート」は、自分を助けてくれた医薬の神「ペオン」を哀れみ芍薬の花に変えたという。】



【事務局情報】武道館スタッフ募集！！と平成 25 年度会費納入の御願い！

去る7月12日閉会した市議会の指定議案可決により、北見市武道館指定管理者として始動するにあたり、武道館運営管理をお手伝いしていただく有料ボランティアを中心としたスタッフを来月8月20日～30日の間、募集いたします。詳しくは、当協会事務局(0157-22-2212)までお問い合わせください。次に、先週26日に若干名の御入会がありました新規入会キャンペーンが終了しました。つきましては昨年より早い時期になりますが、

H25 年度年会費の納入を御願い致します。口座番号等で不明な点はTEL 22-2212 にご連絡ください。

連載 中国「老子」の思想 十三章 わが身を貴べ

人々は、栄誉を得ては胸を騒がせ、恥辱を負うては胸を騒がせる。栄辱を人生最大の関心事と心得ること、あたかも自分自身と取り違えているかの観がある。

なぜ栄誉を得ては胸を騒がせ、恥辱を負うては胸を騒がせるのか。栄誉をよとし、恥辱を悪とする一面的な考えにとらわれているからである。だからこれを得ても胸を騒がせ、失っても胸を騒がせ、不安のおさまるときがない。

なぜ恥辱を自分自身と取り違えるのか。恥辱に関心を抱くのも、自身が存在すればこそである。自身が存在しなければ、そもそも恥辱がどんな意味を持つであろう。自身あつての恥辱なら、自身を大切にすることこそ本筋ではないか。

自身を大切にすることは、物事の本末をわきまえた人である。政治に熱心なあまりに、自身を忘れてしまう人、このような人物にはまだまだ天下の政治はまかせられない。

原文:寵辱若驚。貴大患若身。何謂寵辱若驚。寵爲上、辱爲下。得之若驚、失之若驚。是謂寵辱若驚。何謂貴大患若身。吾所以有大患者、爲吾有身。及吾無身、吾有何患。故貴以身爲天下、若可寄天下。愛以身爲天下、若可託天下。十四章に続く (注) 天下より身を貴ぶ 自身を大切にすることは、それは利己的にふるまえるということではなく、わが身に備わった「道」を貴ぶことである。天下は、これに比べるなら、二義的なものにすぎない。